

自然共生研究プログラム

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状について の評価・質問 など	生物多様性の保全・利用・主流化に関する研究が体系的に推進され、クマ対策や SFTS、NbS オプションの地図化など社会課題に直結する成果が創出されている。	ご評価いただきありがとうございます。
	他事業・他分野との連携を通じて自然共生研究を横断的に深化させ、研究所全体の統合的役割を担っている点が高く評価される。	ご評価いただきありがとうございます。生物の個別研究を深めつつ、統合的な視点を強め、他分野とも連携した成果を出していきたいと思います。
今後への 期待など	生態系変化に対する人間活動や気候変動の影響を、保全・利用の観点からどのように統合的に評価し政策に反映していくかが今後の課題と思われる。	保全と持続的利用は両輪で進めるべきと考えており、人間活動については生態系との関わりに加えて、他の環境問題と同時解決できるような方向を模索したいと考えております。
	他事業との連携について国立環境研究所ならではの取り組みもあり、自然共生を単独分野に閉じず、他分野との相互作用の中で深化させていくことで、今後の展開が期待される。	自然共生は他分野にまたがっているので、連携を深めていきたいと思います。

自然共生研究プログラム

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	本プログラムは、生物多様性の保全・利用・主流化をバランスよく推進し、学術的に高水準な成果と社会実装につながる成果の双方を創出した点が高く評価される。	ご評価くださりありがとうございます。次期自然共生プロジェクトで行動変容も含めた自然と人間の関係の適正化に取り組んでまいります。
	本プログラムは、気候変動・資源循環・地域協働といった他プログラムとの親和性が高く、国立環境研究所の全体の統合性を支える“接着剤”的役割をも果たしている。エコチルとの連携研究開始も評価でき、さらに他のプログラム等との連携も重要になるとと思われる。	自然共生は他分野にまたがっているので、さまざまなステークホルダーとの適切な協働を模索してまいります。
今後への期待など	生態系の管理戦略やレジリエンス、保全と利用の両立といった問題解決に至る部分については、まだまだやり残している研究課題もあると思われる。生態系の利用サービスと生物多様性のバランスをとる、NbSの一層の推進が期待される。	NbS に関しては、他の環境問題との同時解決を目指し、次期のプログラムで引き続き推進してまいります。
	自然を「守る対象」にとどめず、社会課題解決に活かす NbS とゾーニングを制度実装まで結びつけた点で、自然共生ガバナンスとして成熟した捉え方を示している。地域住民や多様なステークホルダーとの協働を明示的な柱として位置づけることで、社会的正統性がさらに高まると期待される。	ご評価くださりありがとうございます。さまざまなステークホルダーとの協働を模索してまいります。
	国際的に主導的役割を發揮するうえで、NIES としての戦略的位置づけをどうするかを明確にすべきである。	国際的な貢献に関しては、生物多様性条約や IPBES 等の動きもフォローしつつ進めてまいりたいと思います。